

のぞみ 支援プログラム

児童発達支援

法人(事業所)理念

できることをひとつずつ増やせるように…

できた!という成功体験を大切にしながら一人一人のペースで生活できる
安心できる場所、存在となるよう子どもたちに寄り添います。

支援方針

個別支援…個人の課題を5領域に沿って、成功体験につなげ環境を考慮しながら支援を行います

集団支援…時間、ルールを守る中で周りのことに気づき、意識をする社会生活、コミュニケーションの向上を目標として支援を行います。

支援内容

遊びを通して「できることをひとつずつふやせるように」

「できた!という成功体験を大切に」

○ 健康・生活

- ・健康状態の把握を毎日の健康管理と必要な対応を行います。小さなサインから心身の異変に気付けるよう観察を行います。
- ・来所時の身辺整理(衣服、荷物、提出物等)子どもたち一人一人に習慣化できるように必要な支援を行います。
- ・睡眠、食事、排泄等の基本的なリズムを身につけられるよう、決まっ

た時間に誘導し支援を行います。

○ 運動・感覚

- ・集団活動では体操、ストレッチ運動、リズムに合わせて身体を動かし、苦手意識を取りのぞけるよう支援します。
- ・工作活動、調理レクリエーションなど五感を通しての活動の経験から、身体機能の維持、向上を図ります。
- ・日常の生活に必要な姿勢保持や運動器の観察を行い必要に応じて個別支援を行います。

○ 認知・行動

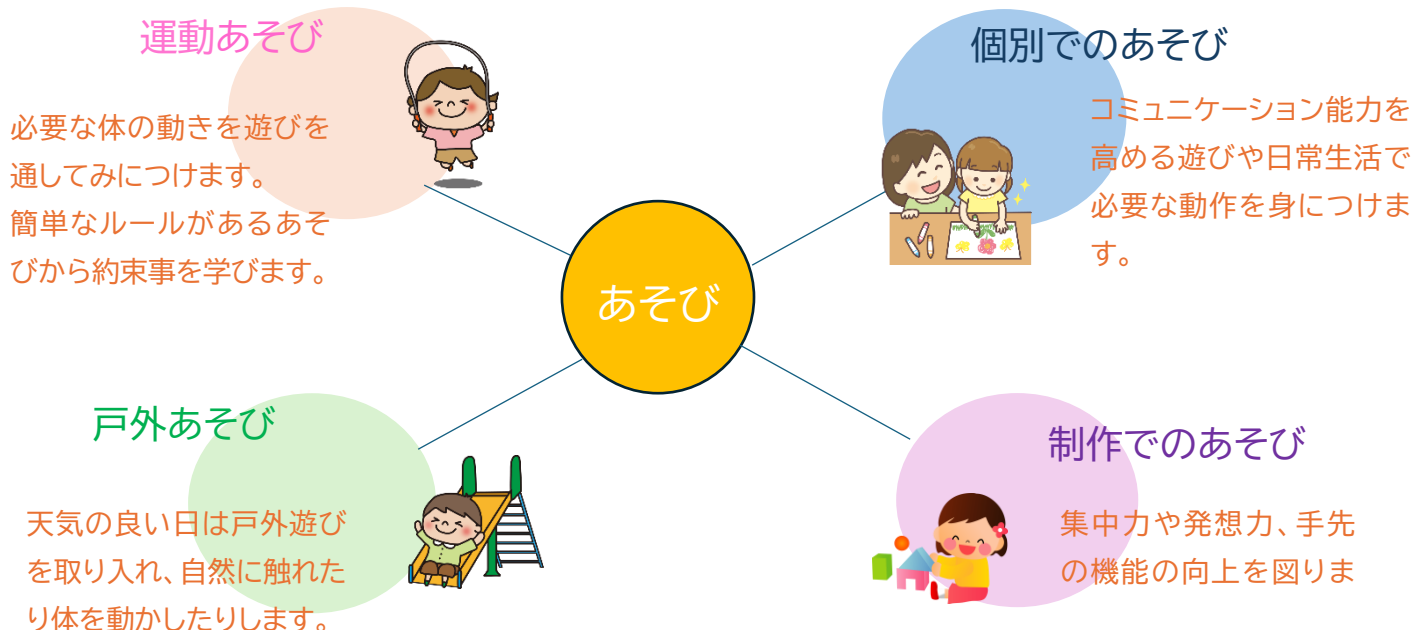
- ・1日のスケジュールを前って知らせます。視覚、聴覚等特性に応じて伝え、不安を取り除けるように支援します。
- ・制作遊び、身体遊びを取り入れ認知機能の発達を促すために支援を行います。
- ・イベントを通して季節に沿った活動や経験から五感を通じて、季節を感じるができるよう支援を行います。

○ 言語・コミュニケーション

- ・日々の生活の中での言葉のやり取りから生活に必要な言葉を習得します。職員が仲立ちしコミュニケーションをつなぐ支援を重ねます。
- ・集団活動の中で言葉を目的としたルールを取り入れ、思いを伝える場面を設け、言葉やジェスチャー等で意思表示ができるよう支援を行います。
- ・活動の中で必要に応じ SST を取り入れ考える力を身につけていきます。

○ 人間関係・社会性

- ・活動、生活の中でルール・話を聞く力を伝え、事業所外での生活や戸外活動の場で生かせるよう支援を行います。
- ・事業所の内での 1 日1つのお手伝いに取り組み、ルールや約束事を守る大切さを伝えていきます。



家族支援

親子活動や保護者会を行い同じ悩みを持つ親子同士の繋がりをつくりながら家族をサポートしていきます。また適切な就学や転校について一緒に考え子どもの状況にあった進路のサポートを行い、保護者の意見に寄り添い支援を行います。

地域支援・地域連携

他の通所事業所や関係機関との連絡情報交換、イベント等の参加を行います。

移行支援

学校、医療・福祉施設、相談支援員との情報交換や担当者会議を行い、包括的に支援を行える環境を作り、支援します。

主な行事等

戸外活動、季節ごとのイベント、保護者との活動

職員の質の向上

毎月の事業所会議、研修会への参加

虐待、身体拘束研修会

安全対策研修会

苦情解決対策研修会

災害時等研修会実施研修会

ハラスメント対策研修会